一般社団法人日本学校保健学会
第72回学術大会

プログラム

2026年11月13日(金),14日(土),15日(日)

一般社団法人日本学校保健学会第72回学術大会　プログラム

メインテーマ

「ワンヘルスと学校保健」

11月14日(土)

【大会長講演】10:40 ～ 11:00　A 会場（メインホール）

「性教育の未来 ～内容論から方法論へ～」

演者：松浦　賢長（福岡県立大学）

座長：瀧澤　利行（茨城大学）

【特別講演①】11:10 ～ 12:00　A 会場（メインホール）

「学童期における口腔機能発達不全症の評価と学校保健に期待すること」

演者：朝田　芳信（鶴見大学）

座長：松浦　賢長（福岡県立大学）

【ランチョンセミナー①】12:10 ～ 13:10　B 会場（中ホール）

「健康まんが活用により子どもが楽しく学ぶ健康学習推進提案」

演者：田代　桂子（大塚ホールディングス株式会社）

伊藤　玲佳（大塚ホールディングス株式会社）

協賛：大塚ホールディングス株式会社

【ランチョンセミナー②】12:10 ～ 13:10　C 会場（小ホール）

「プレコンセプションケアの最新情報～緊急避妊薬の OTC 化と女性が抱える健康問題の解決のために～」

演者：北村　邦夫（一般社団法人日本家族計画協会）

座長：杉村由香理（一般社団法人日本家族計画協会）

協賛：アリナミン製薬株式会社／富士製薬工業株式会社

【メインシンポジウム】13:30 ～ 14:50　A 会場（メインホール）

「学校からコロナ禍を振り返る」

シンポジスト：戸部　秀之（埼玉大学）

野口　直美（北翔大学）

山縣然太朗（国立成育医療研究センター）

座長：大澤　　功（愛知学院大学）

松浦　賢長（福岡県立大学）

【教育講演③】 14:00 ～ 14:50　B 会場（中ホール）

「どうぶつたちとくらそう！人も動物も幸せな未来へ」

演者：外平友佳理（外平動物総合事務所）

座長：森岡　郁晴（和歌山県立医科大学 名誉教授）

【教育講演⑦】 14:00 ～ 14:50　C 会場（小ホール）

「市販薬のオーバードーズと学校保健

～「生きづらさ」に寄り添い、支援につなぐ薬物乱用防止教育の実践～」

演者：城田　起郎（第一薬科大学）

座長：宮井　信行（和歌山県立医科大学）

【教育講演①】 15:00 ～ 15:50　A 会場（メインホール）

「成育医療等基本方針と学校保健」

演者：山縣然太朗（国立成育医療研究センター）

座長：後和　美朝（摂南大学）

【教育講演④】 15:00 ～ 15:50　B 会場（中ホール）

「学校での PMS・PMDD への対応」

演者：武田　　卓（近畿大学）

座長：池添　志乃（高知県立大学）

【編集委員会企画シンポジウム】 15:00 ～ 15:50　C 会場（小ホール）

「学校保健における実践の「問い」をエビデンス化し・論文化につなげる」

「学校保健に関わる実践研究の特性，報告のための要件の明確化」

演者：西岡　伸紀（京都女子大学）

「学校保健における実践の「問い」をエビデンス化し・論文化につなげる」

コーディネーター：宮井　信行（和歌山県立医科大学），

森田　一三（日本赤十字豊田看護大学）

黒川　修行（宮城教育大学），森岡　郁晴（和歌山県立医科大学）

籠谷　　恵（杏林大学）

演者：西岡　伸紀（京都女子大学），佐久間浩美（SBC 東京医療大学）

大西　　瞳（宇治市立広野中学校）

【シンポジウム①】16:40 ～ 17:50　A 会場（メインホール）

「ドッグセラピーと学校」

シンポジスト：菊地　君与（九州大学）

折居　邦成（福岡県宇美町教育委員会）

小屋松　淳（福岡県教育庁）

座長：棟方　百熊（岡山大学）

梶原由紀子（福岡県立大学）

【共催セミナー①】16:40 ～ 17:40　B 会場（中ホール）

「キッズの傷　軽傷から重傷まで

―学校現場で知っておくべき初期対応とアフターケア―」

演者：力丸　英明（久留米大学形成外科・顎顔面外科）

座長：清水　雄介（琉球大学形成外科）

協賛：一般社団法人 日本創傷外科学会

【ミニシンポジウム思春期学会コラボ企画】16:40 ～ 17:40　C 会場（小ホール）

「学校現場と連携した性教育の実践に向けて

―日本思春期学会「性教育認定講師制度」の取り組み―」

演者：樋口　善之（福岡教育大学）

座長：原田　直樹（福岡県立大学）

【一般口演】15:00 ～ 16:00 ／ 16:40 ～ 17:40

D 会場（C301），E 会場（C302），F 会場（C208），G 会場（C207）

【企業展示】12:00 ～ 17:50

C105，C106，C107，C202，C204，C206 教室

【参加者情報交換会】18:00 ～ 19:00

図書館棟 1 階　カフェスペース

11月15日(日)

【学会賞・学会奨励賞表彰式, 優秀査読者賞表彰式, 報告会／受賞講演】

10:00 ～ 11:50　A 会場（メインホール）

学会賞「性教育において，性別違和の無い異性愛者である保健体育科教員が
性的マイノリティの子どもの包摂を試みるプロセス
―心理的障壁と包摂方略に着目して―」

演者：和田真理絵（①筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 3 年制
博士課程パブリックヘルス学位プログラム、②筑波大学 体育系）

学会奨励賞「特別支援教育におけるアクティブラーニングを取り入れた性教育の実践
― 「教える性教育」から「学び合う性教育」への転換 ―」

演者：市戸　優人（札幌市立大学看護学部）

座長：七木田　文彦（埼玉大学）

【教育講演⑤】10:00 ～ 10:50　B 会場（中ホール）

「自殺リスク評価ツール（RAMPS）を活用した自殺予防の取組み」

演者：北川　裕子（東京大学）

座長：羽賀　將衛（北海道教育大学）

【クッキーボックスセミナー】10:00 ～11:00　C 会場（小ホール）

「「携帯電話の電磁波って危ないの？」-WHO の見解を紹介します-」

演者：大久保千代次（一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター）

座長：渡邊　亮宏　（一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター）

協賛：一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター

【共催セミナー②】11:00 ～ 12:00　B 会場（中ホール）

「現場に役立つ理解と対応　ー不登校と逸脱行動ー」

演者：原田　剛志 （パークサイドこころの発達クリニック）

座長：永光 信一郎（福岡大学）

協賛：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス

【ワークショップ②】11:10 ～ 12:00　C 会場（小ホール）

「スマホ依存の動機付け面接入門 ―その特殊性を中心に―」

演者：磯村　　毅（スマホ依存防止学会(PISA)）

座長：梶原由紀子（福岡県立大学）

【ランチョンセミナー③】12:20 ～ 13:20　B 会場（中ホール）

「若年女性の「からだを大切にする力」を育む学校保健
― ボディイメージ教育と月経環境整備の視点から」

演者：田村　好史（順天堂大学大学院医学研究科　スポートロジーセンター),
吉澤　裕世（順天堂大学　国際教養学部）
伊藤奈都美（花王株式会社　サニタリー研究所）

座長：山口　紀子（花王株式会社　研究開発部門　研究戦略・企画部）

協賛：花王株式会社

【ランチョンセミナー④】12:20 ～ 13:20　C 会場（小ホール）

「学校における頭痛教育の必要性」

演者：五十嵐久佳（富士通クリニック内科（頭痛外来））

座長：竹島多賀夫（社会医療法人寿会 富永病院 ／富永クリニック ）

協賛：ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ

【ランチョンセミナー⑤】12:20 ～ 13:20　D 会場（C301 教室）

「「ナッジ×ヘルスリテラシー」という考え方
―養護教諭に求められる健康行動支援―」

演者：荒川　　豊（九州大学大学院システム情報科学研究院 情報知能工学部門）

協賛：Meiji Seika ファルマ株式会社

【特別講演②】13:40 ～ 14:30　A 会場（メインホール）

「学校管理下のケガを減らす」

演者：山中　龍宏（緑園こどもクリニック）

座長：松浦　賢長（福岡県立大学）

【教育講演⑥】13:40 ～ 14:30　B 会場（中ホール）

「学校保健学会の創設者、九州大学名誉教授・久留米大学名誉教授
～ 小児科学医師として、遠城寺宗徳先生の御高著「還るを知る」から学んだこと ～」

演者：照屋　博行（福岡教育大学・九州共立大学 名誉教授）

座長：住田　実　（神戸医療未来大学・大分大学 名誉教授）

【ラウンドテーブル】13:40 ～ 14:30　C 会場（小ホール）

「不登校児童生徒の健康を守る地域ワンヘルス実践―無料検診事業を通じた心身の支援と地域の支援リソースとの連携」

演者： 芳野　仁子（一般社団法人家庭教育研究機構）

「通信制高等学校における健康診断の実施と学校保健の役割」

演者：田中　優花（学校法人 NHK 学園高等学校）

座長：山縣然太朗（国立成育医療研究センター）

【教育講演⑧】13:40 ～ 14:30　D 会場（C301 教室）

「令和版　命をいただくこと、つなぐこと、育むこと」

演者：内田美智子（医療法人 UMC 内田産婦人科医院）

座長：樋口　善之（福岡教育大学）

【教育講演②】14:40 ～ 15:30　A 会場（メインホール）

「5 歳児健診と不登校」

演者：永光信一郎（福岡大学）

座長：原田　直樹（福岡県立大学）

【ワークショップ①】14:40 ～ 16:10　B 会場（中ホール）

「養護教諭のフィジカルアセスメント力を高める　―頭部・顔面外傷への対応―」

演者：荒木田美香子（川崎市立看護大学）

座長：中村富美子　（沼津市立大岡中学校）

【シンポジウム②】14:40 ～ 16:10　C 会場（小ホール）

「出生コホート研究の参加者維持とエンゲージメント向上：学校現場との連携」

シンポジスト：山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター/国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク）

小林　弥生（国立環境研究所）

西郡　秀和（福島県立医科大学　エコチル調査福島ユニットセンター）

小田和早苗（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター　エコチル調査甲信ユニットセンター）

指定発言：甲斐田　修（福岡県立三潴高等学校）

座長：山縣然太朗（国立成育医療研究センター）

辻　　真弓（産業医科大学）

【学術委員会企画研究報告】14:40 ～ 16:00　D 会場（C301 教室）

「子どもの命を守るための教育の実践：学校における多職種連携型オーバードーズ予防・回復支援」

演者：安部　　恵（日本大学薬学部）

「放課後児童クラブにおける食物アレルギー対応の実態調査と職員研修プログラムの開発・評価」

演者：岡本　　陽（愛知教育大学　養護教育講座）

【日本学校保健学会「若手の会」】14:40 ～ 16:10　F 会場（C208 教室）

「集まれ若手！―困りごとをシェアしながら学校保健学会のこれからを語ろう―」

演者：田中　滉至（九州共立大学スポーツ学部）

座長：田中　滉至（九州共立大学スポーツ学部）

沖津　奈緒（千葉大学教育学部）

喜屋武　享（琉球大学医学部，京都大学 Beyond2050 社会的共通資本研究部門）

【一般口演】10:00 ～ 11:00 ／ 11:10 ～ 12:00 ／ 13:30 ～ 14:30（E 会場のみ）

D 会場（C301），E 会場（C302），F 会場（C208），G 会場（C207）

【ポスター発表】閲覧・討論コアタイム

午前 11:10～12:00　P 1 会場（C105），P 2 会場（C106），P 3 会場（C107），

午後 13:30～14:20　P 4 会場（C202），P 5 会場（C204），P 6 会場（C206）

【一般演題・口演】

11 月 14 日(土)

15:00～16:00　D 会場（C 301）

【がん教育の実践と評価】

座長：杉崎　弘周（新潟医療福祉大学）

O02-1　学校・児童生徒の評価からみた医学生によるがん教育の実践報告

○南谷　優成　（東京大学医学部附属病院　放射線科、
一般社団法人　医学生によるがん教育推進協会）

O02-2　対人支援職を目指す短期大学生に対するがん講義の効果～2026 年度の事例から～

○岡本　　昭　（別府大学短期大学部食物栄養科）

O02-3　養護教諭との T・T による中学校でのがん教育の授業～がんについての理解に焦点をあてて

○鎌田　克信　（日本体育大学大学院　体育学研究科　体育学専攻、東北福祉大学
総合福祉学部　福祉心理学科）

15:00～16:00　E 会場（C 302）

【養護教諭の協働・連携・リーダーシップ】

座長：留目　宏美（上越教育大学）

O08-1　教諭と養護教諭の協働に関する共通尺度の開発―妥当性と不変性の検討―

○齊藤理砂子　（淑徳大学　総合福祉学部　教育福祉学科）

O08-2　小学校養護教諭による「ヤングケアラー連携チェックリスト」活用の課題整理

○辻　　京子　（四国大学　看護学部　看護学科）

O08-3　養護教諭におけるミドルリーダーシップ形成プロセスの探求
当事者のオートエスノグラフィーによる内面的変容の解明

○宮崎亜希絵　（足立区立東島根中学校）

15:00～16:00　F 会場（C 208）

【ストレス・適応とメンタルヘルス】

座長：原田　直樹（福岡県立大学）

O06-1　中学受験を控える小学校 6 年生におけるメンタルヘルスの関連要因

○鶴巻　采音　（筑波大学大学院　人間総合科学学術院　人間総合科学研究群
体育学学位プログラム）

O06-2　ストレスマインドセットに着目した青少年メンタルヘルス向上プログラムの開発と予備的評価

○宋　　昇勲　（名古屋学芸大学）

O06-3　演題取下げ

15:00～16:00　　G 会場（C 207）

【児童生徒の身体的健康管理】

座長：松﨑　美枝（九州看護福祉大学）

O14-1　「しゃがめない」は身体が硬いから？―運動器検診後の身体教育に向けて―
○滝澤　恵美　（茨城県立医療大学　保健医療学部　理学療法学科）

O14-2　中高校生の慢性頭痛・脳脊髄液減少症の実態と養護教諭の認識・対応における課題
○齋藤　千景　（埼玉大学　教育学部）

O14-3　中学生サッカー選手における練習前後の尿比重変化の比較
○武市　実和　（四国大学　大学院　人間生活科学研究科）

16:40～17:40　　D 会場（C 301）

【思春期・若者の性と健康】

座長：喜屋武　享（琉球大学）

O05-1　生物学的性差に着目した大学生の日々の体調変動と活動への影響：
日次アンケートとウェアラブルセンシングによる調査
○猿渡　優衣　（九州大学　工学部　電気情報工学科）

O05-2　大学女子アスリートと一般女子大学生における初経年齢の違いによる初経時の
印象の比較
○大田　亜海　（大阪体育大学大学院スポーツ科学科スポーツ心理学専攻）

O05-3　【第一報】地域で若者を支えるユースクリニックの実践報告
―4 行政における地域実装―
○日吉　和子　（名古屋市立大学大学院医学系研究科）

O05-4　【第二報】地域で支えるいのちの授業とユースクリニックの実践報告
―学校・地域・医療をつなぐ教育共創モデル―
○原　智以子　（大阪教育大学大学院　教育学研究科）

16:40～17:40　　E 会場（C 302）

【養護教諭が担う保健教育・保健室実践】

座長：下村　淳子（愛知学院大学）

O09-1　小学校体育科保健領域における養護教諭のティーム・ティーチング実践と協働の現状分析

○清水　あや　（日野市立日野第一小学校）

O09-2　養護教諭が実施している小・中・高等学校における「保健」の授業の現状と課題

○久保田かおる　（帝京大学　教育学部　教育文化学科）

O09-3　保健室での関わりにおいて、児童の自己理解を深める振り返りの実践

○三宅　桃代　（岡山大学大学院教育学研究科専門職学位課程教職実践専攻）

16:40～17:40　　F 会場（C 208）

【食・睡眠・生活習慣】

座長：久保　元芳（宇都宮大学）

O12-1　高校生による睡眠改善活動の全校展開― クラス委員を中心とした健康づくりの実践 ―

○田城　麻紀　（和歌山県立田辺高等学校）

O12-2　中学生における生活習慣の実態
―学校の有無による食事摂取状況および朝食摂取状況に着目して―

○石戸　晴菜　（広島大学大学院　人間社会科学研究科　人文社会科学専攻）

O12-3　中学生における生活習慣の実態―朝食摂取習慣と睡眠習慣に着目して―

○錦戸　和香　（広島大学大学院　人間社会科学研究科　人文社会科学専攻）

16:40～17:40　　G 会場（C 207）

【学校保健の歴史・制度】

座長：竹下　智美（茨城大学）

O01-1　1830 年代米国の初等生理学教育に関する史的研究

○日高　　翼　（大阪教育大学・理数情報教育系）

O01-2　総力戦体制下の学校保健に関する考察

○高橋　裕子　（天理大学体育学部）

O01-3　明治後期から昭和戦前期における学校医活動の学校外への展開
～佐賀県厳木小学校・保利磯次郎を事例として

○小柳　康子　（前福岡大学医学部看護学科）

11 月 15 日(日)

10:00～11:00　　D 会場（C 301）

【性教育①】

座長：田中　滉至（九州共立大学）

O03-1　日本における「包括的セクシュアリティ教育」を目指して
ー小学校体育科保健領域における模擬授業の試みー
○滝川つぼみ　（四国大学　生活科学部　人間生活科学科）

O03-2　日本における『包括的セクシュアリティ教育』を目指して
－小学校教育の中で行う困難感―
○永吉　　円　（四国大学　看護学　看護学科）

O03-3　「学校外教育」における性教育の国際比較
――制度化・提供主体・提供場所・アクセス設計に着目して――
○山田　智子　（佛教大学教育学部生涯教育専攻　博士後期課程）

10:00～11:00　　E 会場（C 302）

【学校救急・危機管理】

座長：籠谷　　恵（杏林大学）

O10-1　養護教諭養成課程における学校救急看護シミュレーション教育の効果
―授業前から 3 か月後までの自己効力感の縦断的検討―
○土方　郁美　（茨城大学　教育学野）

O10-2　部活動中の重症傷病は何を優先して学ぶべきか
―保険申請データからみた教職員 First Aid 研修の提案―
○柳澤　初実　（浦和学院高等学校、国士舘大学大学院救急システム研究科）

O10-3　学校における救急処置時の校内連携と危機管理体制の実態
―養護教諭の視点から―
○小川真由子　（皇學館大学　教育学部　教育学科）

10:00～11:00　　F 会場（C 208）

【心理的困難・不登校への学校支援】

座長：沖津　奈緒（千葉大学）

O07-1　心理的に言語表出困難を抱える児童への養護教諭の支援実践と困難感
○千葉　仁湖　（茨城大学　教育学研究科　教育実践高度化専攻　養護科学コース）

O07-2　不登校生徒が学校と繋がり続ける校内支援体制の検討
―養護教諭・スクールカウンセラー・別室登校支援員の対話分析から―
○金本佐地子　（横浜国立大学大学院教育学研究科教育支援専攻）

O07-3　保健室登校の高校生を支援する養護教諭が抱く「ゆらぎ」に関する研究
○千葉ひろ子　（宮城県佐沼高等学校）

10:00～11:00　　G 会場（C 207）

【多様な教育ニーズと健康づくり】

座長：三森　寧子（東京科学大学）

O13-1　通信制高等学校における保健体育授業の実態と課題
－保健体育教諭への質問紙調査－
○鈴木　彩加　（通信制高等学校、日本体育大学）

O13-2　「運動しなさい」ではなく「楽しい」をつくる健康教育―自立活動での協働実践―
○玉虫　由実　（桜学園つくば市立栄小学校）

O13-3　発達障害の特性を有する児童との関わりにおける通常学級担任が抱える困難
○長瀬　千明　（東京都立文京高等学校）

11:10～12:00　　D 会場（C 301）

【中高生の保健授業・健康教育】

座長：上地　　勝（茨城大学）

O04-1　高校における性教育内容の実施類型と類型所属の関連要因：全国高校調査の分析
○林　　雄亮　（武蔵大学　社会学部　社会学科）

O04-2　中学生と保護者の性教育ニーズからみた性感染症予防教育の授業設計
―生徒の心理的安全性と学校・家庭の連携に着目して―
○渡部　顕治　（信州大学附属長野中学校）

O04-3　中学生の知識と生活実態のギャップに着目した健康行動の意思決定を促す
保健授業の開発
○片井　翔太　（信州大学附属長野中学校）

11:10～12:00　　E 会場（C 302）

【防災・外傷と学校安全】

座長：新井　猛浩（山形大学）

O11-1　小学生の外傷状況―新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行前・流行中・5 類移行後の比較

○関根　沙綾　（慶應義塾大学保健管理センター）

O11-2　防災の自分事化を促す体験型防災教育の実践
―保育士養成学生の授業前後における防災意識の変化―

○脇本いづみ　（山陽学園短期大学こども育成学科）

O11-3　災害時の養護教諭の実践にかかわる研究の動向と内容

○鹿野　裕美　（宮城学院女子大学　教育学部　教育学科　健康教育専攻）

11:10～12:00　　F 会場（C 208）

【社会環境と子どもの健康リスク】

座長：黒川　修行（宮城教育大学）

O15-1　アフターコロナにおける小中学生のマスク着脱と脱マスク不安要因との関連

○若山　美紀　（兵庫教育大学大学院　学校教育研究科　人間発達教育専攻）

O15-2　20 歳未満の者におけるアルコール広告曝露と保護者の飲酒容認状況に関する横断研究

○寺島　智美　（国立研究開発法人国立成育医療研究センター）

O15-3　インターネット利用と自傷の縦断的関連の検討：全国思春期調査より

○石塚　一枝　（国立成育医療研究センター）

11:10～12:00　　G 会場（C 207）

【グローバルヘルス・One Health と学校保健】

座長：岡本　　陽（愛知教育大学）

O16-1　犬猫の心臓手術は子どもの健康観を変えるか
―ワンヘルスに基づく医獣連携教育の可能性―

○宮本　隆司　（社会福祉法人　児玉新生会　児玉経堂病院）

O16-2　小学生における麻疹ワクチン接種状況および麻疹抗体保有状況

○佐藤幸美子　（慶應義塾大学保健管理センター）

O16-3　社会的激変を経験したミャンマー・スリランカ青少年の学校・食生活と価値観の変化
2019 年調査と 2025-2026 年調査の比較

○國土　将平　（中京大学　スポーツ科学部　スポーツ教育学科）

13:30～14:30　　E 会場（C 302）

【性教育②】

座長：物部　博文（横浜国立大学）

O17-1　生命の安全教育を実施できる教員になるための授業実践
―教員養成課程学生の認知と自己関与性―

○郡司菜津美　（国士舘大学　文学部　教育学科）

O17-2　国際セクシュアリティ教育ガイダンスに基づく包括的性教育の実践と評価指標の動向：
スコーピングレビュー

○田村　晴香　（岐阜大学　医学部　看護学科）

O17-3　フェノールフタレインの発色を用いた感染症拡大シミュレーション授業における
安全性の検証と新標準プロトコルの提案

○岡本　　陽　（愛知教育大学　養護教育講座）

【一般演題・ポスター】

11 月 15 日(日)

11:10～12:00　　P1 会場（C 105）

【P1】

P1-01　留学生支援をもとにした留学後のメンタルヘルスを支える教材開発

○大島　紀人　（東京大学　相談支援研究開発センター）

P1-02　身近な生活習慣から紐解く健康への意識変容
―短期大学生を対象とした「健康科学概論」講義後の振り返り分析―

○谷川　友美　（別府大学短期大学部）

P1-03　A 市の中学生に対するがん教育の効果と課題

○太田　泰子　（吉備国際大学）

P1-04　教職課程を履修する大学1年生における栄養教諭の認知および職務理解の実態：栄養教諭の標準的な職務の内容に着目して

○片山　直幸　（新潟医療福祉大学　健康科学部　健康栄養学科）

P1-05　AI とルーブリックを用いた体育学習支援システムの構築：学生の運動行動変容を引き出すアプローチ

○大橋　千里　（富山高等専門学校一般教養科）

P1-06　健康まんが教材を活用した健康リテラシー育成に関する授業実践の試み

○西田　智美　（横浜市立嶮山小学校）

P1-07　小学校児童における生活習慣・健康知識の年度内変化
―保健学習プログラム開発に向けた基礎的検討―

○根岸　伸之　（大阪市立関目東小学校、兵庫教育大学大学院学校教育研究科）

P1-08　小児看護専門看護師による中学生へのがん教育の実践と意義

○志藤　千晴　（前神戸女子大学　看護学部　看護学科）

P1-09　健康管理教育を踏まえた看護学生の学習者としての倫理的行動の構成要素

○坂本　仁美　（長崎県立大学）

P1-10　国立高等専門学校生における保健学習内容の理解度
－学習指導要領（高等学校保健体育編）に基づき－

○南　　雅樹　（石川工業高等専門学校　一般教育科）

P1-11　米国保健教育基準準拠の中高生用スキルベース健康教育プログラム（Benes & Alperin, ’26）のフレームワーク

○西岡　伸紀　（京都女子大学　心理共生学部　心理共生学科）

P1-12　演題取下げ

P1-13　Long-term Effects of “Health” Education in Junior and Senior High Schools: University Students

○Koga　Shinichiro　（日本女子大学、東京外国語大学）

P1-14　Health management and accumulation of research at the health center, Japan Women’s University

○Koga　Shinichiro　（日本女子大学）

P1-15　カンボジアの教員養成大学教官による学校保健研修導入 3 年半の振り返りによる評価

○朝倉　隆司　（滋賀医科大学医学部看護学科グローバル連携看護学講座）

11:10～12:00　　P2 会場（C 106）

【P2】

P2-01　アタッチメントが SNS を利用した性的グルーミングの回避に及ぼす影響 ―小学校高学年児童における相談行動を中心に―

○新居　美希　（北島町立北島北小学校）

P2-02　性の多様性理解に関する学校保健活動の展開過程 ―保健室経営計画を基盤とした4年度にわたる実践―

○蓮沼　如月　（広島市立安西中学校）

P2-03　「性の多様性」を題材とした哲学対話における発話の展開過程とその相互作用：TD による探索的検討

○柏木　睦月　（十文字学園女子大学　教育人文学部　心理学科）

P2-04　哲学対話を用いた「性の多様性」の授業実践：知識・理解と受容の認識・学習意欲への影響

○石井　里佳　（群馬大学大学院　保健学研究科　看護学領域）

P2-05　看護学生の性的マイノリティに対する意識・態度と学習・接触経験との関連 ―A 大学看護学生を対象とした質問紙調査より－

○高田　千鶴　（神戸市看護大学　看護学部）

P2-06　Fertile window の知識を高める教材の RCT 効果検討 ～プレコンセプションケアに繋げるために～

○川野　詩奈　（熊本大学　大学院　教育学研究科　教職実践開発専攻）

P2-07　子どもの「性と生」の学びを支える包括的性教育（第一報）
―助産師と学校の協働に向けた教員・保護者の認識―

○清水ゆかり　（岐阜保健大学　看護学部　看護学科）

P2-08　性の多様性を「自分ごと」として捉えるための小学校における保健指導の実践及び評価

○岩瀬　千明　（山形県東根市立東郷小学校）

P2-09　中学生向けの「薬物乱用防止かるた」教材の開発と妥当性の検討

○久保　元芳　（宇都宮大学共同教育学部）

P2-10　高校生における外見に関するソーシャルメディア意識と体型満足度との関連

○木村ほの花　（名桜大学　人間健康学部　スポーツ健康学科）

P2-11　高校生の危険行動と学校ソーシャル・キャピタルとの文脈的関連の経年推移：
反復横断研究 2012～2024

○高倉　　実　（名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科、琉球大学医学部）

P2-12　ストレス対処方法を取り入れた薬物乱用防止教育に関する実践報告
―生徒の授業評価・自由記述から―

○中田　由美　（長野県小諸義塾高等学校）

P2-13　沖縄県公立高校生における有料のインフルエンザワクチンと無料の新型コロナ
ワクチン未接種の社会経済的・教育的要因の比較

○喜屋武ゆりか　（沖縄大学　健康栄養学部　管理栄養学科）

P2-14　大学生におけるアルコール摂取と健康状態及び生活習慣との関連

○伊藤　常久　（東北生活文化大学　家政学部　家政学科）

11:10～12:00　　P3 会場（C 107）

【P3】

P3-01　ストレスマネジメントにアプローチする授業実践は不登校予防につながるか（1）
授業前後の変化

○江角　周子　（東京学芸大学　教育心理学講座）

P3-02　ストレスマネジメントにアプローチする授業実践は不登校予防につながるか（2）
回帰分析

○寺戸　武志　（上越教育大学大学院　学校教育実践研究コース
道徳・進路・生徒指導領域）

P3-03　ストレスマネジメントにアプローチする授業実践は不登校予防につながるか(3)
ハイリスクな児童について

○五十嵐　哲也　（愛知教育大学　学校教育講座）

P3-04　不登校の子どもの母親の経験に影響する要因の多層性
―国内学術誌のスコーピングレビュー―

○沖津　奈緒　（千葉大学大学院　教育学研究院　養護教育講座）

P3-05　自傷・希死念慮を有する高校生を校内外の支援につなぐ養護教諭の実践

○石田実知子　（川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科）

P3-06　中学生における社会的自尊感情と基本的自尊感情の関連―褒めの経験に着目して―

○土方　郁美　（茨城大学　教育学野）

P3-07　高校生の自己理解の意識を高める教育実践の効果

○梅林　もえ　（岡山大学大学院教育学研究科専門職学位課程教職実践専攻）

P3-08　思春期の自己受容に関する文献検討―精神疾患を有する患者への看護実践への示唆―

○馬渡　　岳　（福岡県立大学　看護学研究科　看護学専攻）

P3-09　発達障がいのある人の自己理解を促す支援と変容プロセスに関する文献検討
―学校保健・看護支援への示唆―

○草野　知美　（天使大学　看護栄養学部　看護学科）

P3-10　高校生における生成 AI の相談目的での利用と思いやり及び他者意識の関連

○新城　碧唯　（名桜大学　人間健康学部　スポーツ健康学科）

P3-11　小学校学級担任におけるセルフケアの特徴と回復機能
～量的・質的分析による統合的検討～

○山内加奈子　（名城大学）

P3-12　教師の Grit と自主研修頻度についての検討

○山本　裕貴　（兵庫教育大学大学院　連合学校教育学研究科
学校教育学実践学専攻）

P3-13　ヘルスプロモーションに基づくメンタルヘルス研修の効果検証
―中学校教師のストレス反応およびソーシャルキャピタルに着目して―

○宮城　政也　（琉球大学教育学部）

P3-14　教職トランジションを支援するライフスキル教育プログラムの提言
―これまでの研究成果の統合を踏まえて―

○木村　美来　（鈴鹿大学）

13:30～14:20　　P4 会場（C 202）

【P4】

P4-01　保護者の養護教諭への相談行動の特徴
―相談のきっかけ･理由および教職員･専門職との連携経験に着目して―

○石井有美子　（香川大学　医学部　看護学科）

P4-02　養護教諭養成課程における模擬校務支援システムを活用した情報収集演習の試み

○波田野希美　（四天王寺大学　看護学部　看護学科）

P4-03　中山間地域の養護教諭を対象とした医療的ケアに関する実態調査

○丸山　純子　（新見公立大学　健康科学部看護学科）

P4-04　僻地で勤務する養護教諭の離職要因に関する調査

○丸岡　里香　（北翔大学教育文化学部教育学科）

P4-05　小学校における特別なニーズを要する児童の実際及び支援体制
―養護教諭の役割と課題―

○石野　晶子　（杏林大学　保健学部　看護学科　看護養護教育学専攻）

P4-06　医療的ケア児を対象とした訪問看護と養護教諭の連携

○鈴木　智子　（四国大学看護学部）

P4-07　養護教諭向け研修セミナーの参加者アンケートに対する KJ 法分析

○福田　俊介　（淀屋橋心理療法センター）

P4-08　求められる養護教諭の職務とフィジカルアセスメント

○新沼　正子　（安田女子大学心理学部現代心理学科）

P4-09　養護教諭養成教育での模擬事例を用いた包帯法の授業実践

○山田　玲子　（北海道教育大学教育学部札幌校）

P4-10　支援者を支える「わかる事例検討」の実践報告
ー養護教諭教育課程の授業における試みー

○金野　智津　（宮城大学　看護学群、東北大学大学院　教育学研究科
教育心理コース）

P4-11　養護教諭スキルラダーの Web アプリ開発における設計上の意思決定プロセス

○中村富美子　（静岡県沼津市立大岡中学校）

P4-12　養護教諭が考える連携力や協働力における『課題』
―全国調査のアンケートの自由記述の分析から―

○梶原由紀子　（福岡県立大学　看護学部　看護学科）

P4-13　養護教諭から見た子供の健康課題～コロナ前、コロナ禍、コロナ後の比較～

○荒川　雅子　（東京学芸大学　芸術・スポーツ科学系）

P4-14　養護実践を記録することは日々の実践に何をもたらすのか
―養護教諭へのインタビュー分析から―

○横島三和子　（大阪人間科学大学　人間科学部　子ども教育学科）

P4-15　スポーツ健康科学系学部卒業生が捉える養護教諭としての能力―強みと課題―

○中西　唯公　（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻）

13:30～14:20　　P5 会場（C 204）

【P5】

P5-01　RICE の実施上のリスクに配慮した講義が大学生の意識に及ぼす影響

○稲田　華歩　（岡山大学大学院教育学研究科教職実践専攻）

P5-02　映像教材を用いた反復学習が一次救命処置(BLS)スキルの保持に及ぼす影響

○北　　哲也　（徳山工業高等専門学校　一般科目）

P5-03　教職課程履修者の熱中症に関する知識の実態

○丹　　佳子　（山口県立大学）

P5-04　小学校におけるシナリオ非提示型食物アレルギー校内研修の実践と評価

○星野沙貴絵　（岡山大学附属小学校）

P5-05　From school to university: Anaphylaxis management and self-management during the transition to adulthood in Japan

○Koga Shinichiro　（日本女子大学、東京外国語大学、東京都立駒込病院内科）

P5-06　Institutional gaps in the transition from school-based to university-based support for intranasal glucagon

○Koga Shinichiro　（日本女子大学保健管理センター、東京外国語大学保健管理センター、東京都立駒込病院糖尿病内科）

P5-07　嘔吐処理研修の実践と評価―教職大学院生を対象として―

○三宅　桃代　（岡山大学大学院教育学研究科専門職学位課程教職実践専攻）

P5-08　教職員における災害時の学校での対応の不安への支援

○浜口　雅代　（南あわじ市立榎列小学校）

P5-09　異学年集団活動による防犯教育の実践的検証

○八木利津子　（桃山学院大学）

P5-10　学校安全における養護教諭の役割
―これからの学校安全を見据えた先行研究の整理と今後の課題―

○湯原　裕子　（聖徳大学　心理・福祉学部　社会福祉学科）

P5-11　高等学校家庭基礎における健康で快適な住生活の指導内容 －教科書の分析を通して－

○小泉　勇樹　（東京学芸大学大学院　連合学校教育学研究科　学校教育学専攻）

P5-12　長崎市薬剤師会･長崎市教育委員会･長崎市学校給食センターにおける学校給食センター化に向けた活動内容に関する考察

○酒井　徳子　（一般社団法人長崎市薬剤師会）

P5-13　児童養護施設で暮らす子どもたちの健康をめぐる支援の実際 第 2 報

○高橋　真麻　（和歌山県立医科大学　保健看護学部）

P5-14　教員が考える児童･生徒のウェルビーイングとはなにか

○大島　紀人　（東京大学　相談支援研究開発センター）

P5-15　一般教員の救急処置における自信と知識･経験･認識との関連

○竹森　友南　（名桜大学　人間健康学部　スポーツ健康学科）

13:30～14:20　　P6 会場（C 206）

【P6】

P6-01　中学1年生を対象とした咀嚼健康教育の試み―歯科衛生士による介入の効果―

○文字山穂瑞　（西東京歯科医院、東京西の森歯科衛生士専門学校）

P6-02　健康科学概論における学生の学びと健康意識の変化
―爪･生活習慣病･感染症予防を中心に―

○野口　直子　（別府大学短期大学部）

P6-03　海藻による腸管グルコース吸収抑制作用と食育への応用可能性

○大益　史弘　（山形県立米沢栄養大学大学院　健康栄養科学研究科
健康栄養科学専攻）

P6-04　月経つらさの関連因子探索　～機械学習で関連因子を整理する試み～

○堤　　圭伍　（花王株式会社　サニタリー研究所）

P6-05　高校生の平日・休日の起床時刻の乖離改善を目指した保健教育の実践

○片山百合子　（岡山大学大学院　教育学研究科　専門職学位課程　教職実践専攻）

P6-06　中高一貫校生徒における自己申告による筋骨格系・身体症状の学年別割合と睡眠・ICT 機器利用との関連：単一校横断研究

○渡邊　一也　（下関看護リハビリテーション学校）

P6-07　ネパール上位カースト菜食児の身長及び体重の経年比較
-2014～2020 年と 2023～2026 年の比較-

○中西　　純　（中京大学スポーツ科学部）

P6-08　日常の立位姿勢動揺と主観的心理・身体状態の関係

○中澤　理恵　（十文字学園女子大学　教育人文学部　心理学科）

P6-09　青森県の小学6年生における食習慣、生活リズムと栄養摂取状況の関連

○清水　菜月　（青森県立保健大学）

P6-10　中学生の体格と血圧、生活習慣の地域比較　―青森県と滋賀県－

○古川　照美　（青森県立保健大学）

P6-11　中学生における身体活動ガイドライン達成率の 1 年後の推移と移行パターン

○進藤　美沙　（山口市立大内中学校）

P6-12　青年期女性における冷え性の実態調査と関連要因の検討

○後藤　知己　（熊本大学　教育学部 養護教育講座、
熊本大学　大学院生命科学研究部 生涯健康教育学講座）

P6-13　男子高校サッカー選手における練習前の尿比重と練習中の体重減少率の実態

○藤田はづき　（四国大学　大学院　人間生活研究科）

P6-14　家庭における食に関する会話と児童の学校給食に対する意識との関連

○工藤　万柚　（東北生活文化大学　家政学部　家政学科　健康栄養学専攻）

P6-15　仙台市における児童・生徒の痩身傾向児の出現率の推移について
（2003 年～2024 年）

○黒川　修行　（宮城教育大学）